



## 主張

### 子どもたちの輝く未来のために

大江 近

あけましておめでとうございます。新しい年を迎えました。我が家の庭に咲くペコニアもこの寒さのなか、赤白ピンクと分け隔てなく身を寄せ合って花を咲かせております。昨年は東日本大震災をはじめ、自然の猛威により学校も甚大な被害を受けました。そのようなかで被災地に対して物心両面からの支援を行っていただいた各都道府県校長会に対して私からも感謝を申し上げます。被災地の一日も早い復興を心から願うところであります。

さて昨年十月二十六日から三日間、第六十二回全日本中学校長会研究協議会埼玉大会が、埼玉県さいたま市で開催されました。ご尽力いただきました実行委員長である埼玉県中学校長会長の松澤勇治校長先生をはじめ埼玉県中学校長会の皆様に心から感謝いたします。本大会は、学校運営に関わる課題から教育課程実施に関わる課題まで幅広く協議が行われました。また災害からの復興の記録をまとめた東北地区の研究収録も配布されました。校長会としての「絆」を一層深めたとても意義ある大会だったと思います。

#### 中学校経営に求められるマネジメントとは

いま、校長が問われているのが経営マネジメントであります。私は際物教育を並べ立てる商業的経営マネジメントで通用するほど中学校教育は甘くないと考えております。私た

ち校長の長年にわたる教育実践で培われた確固とした教育理念を基盤とした教育経営マネジメントが極めて大切であり、課題対応のための底力になると思います。

#### 教員にはどのような力が必要なのか

教育界においても人材の枯渇と若手教員及び教育管理職の育成が課題となっております。教育はスキルも大切、知識も大切、情報も大切であります。しかしもっと大切なことは教員としての意欲や情熱を支える教育理念と教育哲学であると思います。

#### 校長会の組織としての力

各都道府県校長会におきましては地域社会や関係機関からの期待に応えるべく校長会組織が教育改革推進のリーダーとなり教育課程の適正実施、健全育成、人材育成に一定の成果をあげてまいりました。校長会の組織の力が教育振興を支えていると確信します。

#### 全日中としての3課題

全日本中学校長会が取り組むべき課題は、基本方針の実現とともに「東日本大震災からの復興支援と学び」「新学習指導要領全面実施に向けての取組」「全日中教育ビジョン3年目としての実践と検証」であります。全日本中学校長会は、「教育改革を目指す全日中」という合言葉のもとに、教育の実践的専門家集団として、一丸となって、子どもたちの輝く未来のために教育の立場から国家・社会に貢献したいと思っております。

(全日本中学校長会会長・渋谷区立上原中学校長)

